

計画素案に対する修正対応について

地域公共交通計画（素案）に対し、委員の皆様及びパブリック・コメントで頂いた意見について、事務局で検討した結果、『資料 1-3 パブリック・コメントの意見と対応方針について』及び『資料 1-4 委員の意見と対応方針について』のとおり修正対応いたします。それを踏まえ、下記のとおり素案への反映を行うとともに、計画として必要な参考資料、各種データの時点更新を行い、地域公共交通計画（案）といたしました。

計画案該当箇所				意見内容	修正対応	意見者区分等		
章	ページ		最終案			パブコメ	委員意見	その他更新
	パブコメ 時点							
1 はじめに	新規			—	・ 計画策定にあたり、市長挨拶のページを追加いたしました			●
	1-1	1	2	・ 「市民」に高齢者や障害者を含むことを本計画書の中で明示すべき	・ 本計画において、「市民」とは高齢者、障害者等を含むすべての市民のことであり、高齢者、障害者を特別に記述はしておりませんが、ご意見を踏まえ、より分かりやすくするため表現を見直します	●		
	1-6	17	18	<ul style="list-style-type: none"> 対象とする交通手段は示されているが、公共交通そのものの用語の定義が見当たらない。さいたま市には公営交通がないので誤解する人は少ないと思うが、用語の定義は記載すべき 例えば①バス路線の再編検討の対象はコミュニティバスを指しているのであれば、明記されていなければ、民間路線バスへの介入との誤解を招くのではないか 	<ul style="list-style-type: none"> 本計画の中では、対象とする各交通手段が公共交通体系の中でどのような役割を持つかで定義することが必要と考えており、4-3 目指す公共交通ネットワークの中で各交通手段の役割として整理し、示しています バス路線の再編の施策については民間バス路線も含まれ官民連携して施策を推進（検討）してまいります 	●		
第2章 さいたま市の公共交通に関する現状	2-1	21	22	・ 現状から見た問題点の「高齢者等」の外出機会の減少は、「等」が何を指すものなのか読み取れない。「等」を削除する、もしくは「高齢者や〇〇等」と具体的に記載すべき	<ul style="list-style-type: none"> 人口動態に関連する統計データ等においては、障害者とその他を分けて問題点を把握することはできないため、人口動態に関連する統計データ等による現状から、問題点を整理しています そのため、誤解のない表現とする必要があると考えます 	●		
	2-4	35	36	・ 「東日本の広域交通拠点のイメージ」の道路部分を現況に合わせて修正すべき	<ul style="list-style-type: none"> 東日本の交通の結節点のイメージとして「さいたま市総合都市交通体系マスタープラン(H29)」を使用しておりますが、公共交通に関する現状をイメージできるよう、更新する必要があると考えます ご意見を参考に、最新の現況図に修正いたします 	●		

計画案該当箇所				意見内容	修正対応	意見者区分等		
章	ページ		最終案			パブコメ	委員意見	その他更新
	パブコメ 時点							
	2-4	38	39	<ul style="list-style-type: none"> 武浦01系統が載っていないのではないか バス運行本数に現状と大きな乖離があり、問題であると思う また、凡例の表示は時刻表示と読み取れるため「10-15 時台」「7-9 時台」等の表記に変更すべきではないか 	<ul style="list-style-type: none"> 本計画ではバスサービスの現状として運行本数別路線図を掲載しており、最新のデータにわかりやすく更新すべきと考えます そのためバス運行本数図のデータを現時点版に見直し、凡例表記を修正いたします 	●		
	2-4	46	47	<ul style="list-style-type: none"> 最新の東京PTの結果から、新型コロナウイルス以前からが外出率が低下していたことから、コロナ過や新たな生活様式の定着により外出が減少している趣旨の表記は、「更なる減少」の記載に修正してはどうか 	<ul style="list-style-type: none"> 計画に記載の表現は、データ傾向に基づいた正確な記載とすべきと考えます ご指摘の通り修正いたしました 		有識者	
	2-5	48	49	<ul style="list-style-type: none"> 現状から見た問題点には、高齢者だけでなく、移動手段が限られる障害者についても記載すべき 	<ul style="list-style-type: none"> 人口動態に関連する統計データ等においては、障害者とその他を分けて問題点を把握することはできないため、人口動態に関連する統計データ等による現状から、問題点を整理しています そのため、誤解のない表現とする必要があると考えます 	●		
第3章 基本方針の設定	3-2	51	52	<ul style="list-style-type: none"> ②公共交通相互の連携を強化する交通結節機能の向上についてのくらしのイメージに、高齢者、子供連れだけでなく、障害者についても記載すべき 	<ul style="list-style-type: none"> 「高齢者やこども連れ等」には、障害者を含むものと考えております。ご意見を踏まえ、より分かりやすくするため表現を見直します 	●		
	3-2	53	54	<ul style="list-style-type: none"> ②公共交通相互の連携を強化する交通結節機能の向上についての説明文に、高齢者、子供連れだけでなく、障害者についても記載すべき 	<ul style="list-style-type: none"> 「高齢者やこども連れ等」には、障害者を含むものと考えております。ご意見を踏まえ、より分かりやすくするため表現を見直します 	●		
第5章 実施する事業	5-1	65	66	<ul style="list-style-type: none"> 施策の説明文中の「高齢者サービスや福祉施策などと連携を図り」に高齢者サービスだけでなく障害者サービスも追記すべき 	<ul style="list-style-type: none"> 「高齢者サービスや福祉施策など」には、障害者サービスを含むものと考えております。ご意見を踏まえ、より分かりやすくするため表現を見直します 	●		
	5-1	67	68	<ul style="list-style-type: none"> 「地下鉄7号線の延伸検討」の事業主体は、「行政」から「行政、鉄道事業者等」に修正すべき 	<ul style="list-style-type: none"> ご意見を踏まえ、事業主体を行政等に修正いたします 		行政	
	5-1	72	73	<ul style="list-style-type: none"> 施策の説明文中の「地域に不慣れな観光訪問者や障害者等に対して移動を支援」の障害者等を高齢者、障害者に記載変更すべき 	<ul style="list-style-type: none"> 「障害者等」には、高齢者を含むものと考えております。ご意見を踏まえ、より分かりやすくするため表現を見直します 	●		

計画案該当箇所				意見内容	修正対応	意見者区分等		
章	ページ		最終案			パブコメ	委員意見	その他更新
	パブコメ 時点							
第6章 計画 の評価方法	6	80	78	・ 公共交通等による人口カバー率は現況値が 91.7%で目標値が95%であるため、+3%の表記を+3.3%と修正する	・ 数値の桁表現は本計画書内で整合の取れた表現が適切であると考えます ・ ご意見を参考に、目標値の表記は小数点第一位までの表記で統一し、表記を修正いたします	●		
第7章 計画 のフォローア ップ	7	91	90	・ 本文中PCDAサイクルは誤記のため修正すべき	・ ご意見の通り、誤表記のため修正いたします	●		
	—	91	90	・ 説明文中の「通勤・通学者、高齢者等、公共交通の主要な利用主体」に、障害者を追記すべき	・ 「高齢者等」には、障害者を含むものと考えております。ご意見を踏まえ、より分かりやすくするため表現を見直します	●		
参考資料				—	・ 計画策定にあたり、検討の経緯等の参考資料を追加いたしました			●
概要版		3	3	・ コミュニティバス等の利用者、公的資金の投入額のグラフ凡例「コミバス乗客車数」の誤字を修正する	・ 利用者、乗客等の表現は本計画書内での整合が必要と考えます。表記を修正いたします	●		
		9	9	・ 概要版の目標：公共交通の維持・確保の記載の内、「環境負荷、交通混雑・事故の解消等」は環境負荷の「低減」、交通混雑・事故の解消等とすべきではないか	・ 本計画書の記載は市民にわかりやすく、誤解のない表現とする必要があると考えます ・ ご意見を参考に、表記を修正し、併せて本計画書本編についても環境負荷の「低減」に修正いたします	●		